

# みずほ証券 提出資料

Strictly Confidential

説明資料

# 当社におけるシステムによるインターナルクロッシングについて

2019.02.19

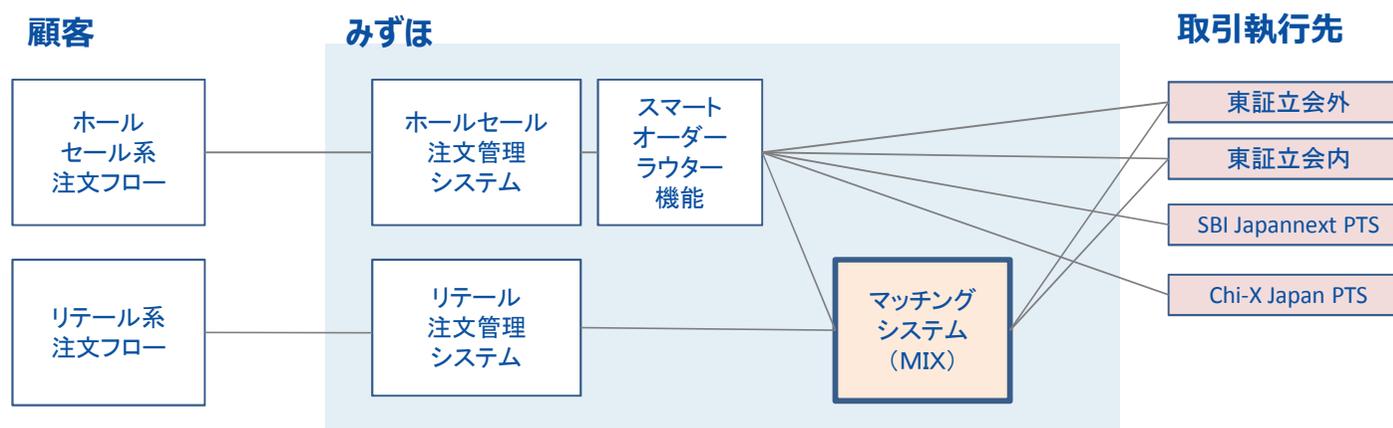
みずほ証券



# ダークプールの取組み状況について

## みずほ証券におけるダークプールの取組み状況

- 一般的に、システムによるインターナル・クロッシング取引は、システムが顧客注文を執行する際、証券会社内の多様な流動性を利用して自動的にマッチングするサービスを指すもので、所謂ダークプール取引として知られております。当社においては、MIX(ミックス)という呼称にて、ダークプール取引の機会を提供しております。
- MIXでは、秘匿性が確保されたシステム環境にて取引が執行され、最終的には日本でのルール・慣例に従い、速やかに取引所立会外取引(東証ToSTNeT取引)として執行完了するモデルを採用しております。なお、取引所外取引に相当する取引はございません。
- 執行上は取引所立会外取引と相違ないため、通常の立会内取引と同じく、日本証券クリアリング機構を通じて清算・決済を行う仕組みとなっております。
- MIXは2013年8月より、ホールセール顧客への提供を目的として運営を開始し、2015年5月より、リテール顧客への提供も開始しました。



フロー概要イメージ図

# ダークプールの特徴について

## みずほ証券におけるダークプールの特徴概要

### 1. 多様なアクセス方法

お客様の多様な発注形態に対する取引執行先として選択可能です。

マニュアル注文のほか、ホールセール向けではFIX計らい注文、DMAおよびアルゴリズム取引にからもアクセス可能であり、SOR的機能を駆使した執行方法のほか、直接発注、即時失効の注文タイプなど多岐に渡る発注方法に対応しております。

### 2. 多岐にわたる執行上のメリット

下記の仕様等により一般的に顧客にとってメリットのある条件での約定を目指すことが期待されます。

- 取引所立会内より小さい呼値最小単位が採用されているため、約定価格がより有利になる可能性が高い
- 取引所立会内と同一または有利な価格、仲値または有利な価格など、お取引ニーズに沿った価格条件を設定した取引も可能
- 取引所立会内等での取引と比較してマーケット・インパクトを抑えることが期待される
- 取引所立会内より一般的に板の待ち(キュー)が短く、スピーディな約定、または期待された価格での約定可能性が高くなることが期待される
- 取引所立会内にて十分な流動性のない場合にも、同タイミング・同値での執行機会の獲得が期待される

### 3. 多様な流動性との相対の機会

多様な流動性が存在し、潤沢な反対売買の中から顧客のニーズに見合う相対注文との約定可能性の高さを目指します。

### 4. 取引データ等の管理

ダークプールにおける執行結果データ等を有効に保存、活用することにより、以下の体制を可能としております

- 取引執行結果について、弊社内にて事後モニタリングを行い、予め定めた条件に合わない取引執行の無かったことを確認する体制を整備
- 顧客のニーズに応じて、過去一定時点までの取引状況、パフォーマンスなどの情報がご提供可能な体制
- 取引データと合わせて、その時点での主市場の気配状況等のマーケットデータを保存し、事後必要に応じて当社での検証、顧客へのご提供可能な体制

# ダークプールの運用状況について

## みずほ証券におけるダークプールの運用状況の概要

### 1. ダークプールの規模

- ・1日あたりの売買代金は数百億円規模にて推移し、全体として増加傾向
- ・但し、リテール系フローの売買代金は当初より大きくは変わらず

### 2. クロス率・価格改善の状況

- ・市況や取引銘柄の状況にもよるが、クロス率は40%超で、価格改善率は数bpsレベル、「仲値オアベター率」は80%超にて推移

### 3. リテール系フローの規模

- ・ダークプールへのアクセス設定がされているリテール顧客は口座数ベースで2%弱程度。サービス開始当初に大きく伸び、その後は大きくは変わらず
- ・リテールフローのみでのクロス率は5%程度

# 投資家への説明、外部への公表状況について

## みずほ証券におけるダークプールに関する説明態勢、情報提供について

### 1. 投資家への事前・事後説明について

- 当社では、顧客がダークプールへのアクセス開始前に顧客への説明を含む、所定の手続きを行なう体制です。ホールセール、リテール顧客それぞれに所定の方法にて同意を取る体制です。
- また取引後には、顧客の要求に応じて、ダークプールにおける執行状況に関する情報を提供できる体制です。特にホールセール顧客については、所定の様式などにて執行状況等の情報を定常的に提供が求められるケースも多く、当社でも対応しております。

	ホールセール	リテール
事前説明	<ul style="list-style-type: none"><li>• 説明書等を用いて顧客へ説明</li><li>• 顧客より同意書を取得</li><li>• 同意書の不備確認後、注文管理死すシステム等に設定し、ダークプールでの執行が可能となる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 『みずほインターナルクロッシング(通称:MIX)取引説明書』を用いて顧客へ説明</li><li>• 顧客より同意書を取得</li><li>• 同意書の不備確認後、発注端末に登録、ダークプールでの執行が可能となる</li></ul>
事後説明	<ul style="list-style-type: none"><li>• 顧客からの要望に応じて執行状況レポートを配信</li><li>• 月次で対象顧客にMIX全体の利用状況レポートを配信</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 顧客からの要望に応じて取引報告書にて情報開示</li></ul>

### 2. 外部への公表状況について

- ダークプールに関する具体的運営情報や執行状況について、無制限な閲覧者対象の公表はございません。なお取引顧客およびご興味を持って頂いた期待顧客について、一定の説明を提供する準備はございます。
- なお、特定の取引顧客またはご興味を持って頂いた期待顧客等に対して、売買代金、クロス率、価格改善率、銘柄セクター別や時価総額別のクロッシングの状況、売買代金上位銘柄等の紹介などの一般的データを提供しております。

# ダークプール対応策について

---

## ダークプール対応策に関する本日の意見交換ポイントについて

1. ダークプール・フラグによるシェア把握
2. 運営情報の開示・公表
3. オプトインによる明確なダークプール発注指示
4. 価格改善の担保